



## T コマンド

---

この章では、T で始まる Cisco NX-OS 仮想ルータ冗長プロトコル (VRRP) コマンドについて説明します。

# track (VRRP)

追跡対象オブジェクトに基づいて仮想ルータのプライオリティを変更するには、**track** コマンドを使用します。仮想ルータのためのプライオリティ トラッキングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**track object-number [decrement value]**

**no track object-number [decrement value]**

## 構文の説明

<i>object-number</i>	設定済みの追跡対象オブジェクトの番号。指定できる範囲は 1 ～ 500 です。
<b>decrement value</b>	(任意) 追跡対象オブジェクトがダウンした場合に、VRRP プライオリティをデクリメントします。範囲は 1 ～ 254 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**track (VRRP)** コマンドは、設定された追跡対象オブジェクトのステートに基づいて仮想ルータのプライオリティを変更するために使用します。追跡対象オブジェクトを設定するには、**track** コマンドを使用します。追跡対象オブジェクトがダウンすると、そのプライオリティが仮想ルータのプライオリティ値に戻ります。追跡対象オブジェクトがアップすると、仮想ルータのプライオリティが元の値に戻ります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

**例** 次に、仮想ルータのオブジェクト トラッキングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# track 33 ip route 192.0.2.0/24 reachability
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# track 33 priority 2
switch(config-if-vrrp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature vrrp</b>	VRRP をイネーブルにします。
<b>show vrrp</b>	VRRP 設定情報を表示します。

コマンド	説明
<b>track interfave (VRRP)</b>	インターフェイスのステートを追跡して、インターフェイス ステートがダウンした場合に VRRP プライオリティを変更します。
<b>vrrp</b>	VRRP グループを設定します。

# track interface (VRRP)

インターフェイスに基づいて仮想ルータのプライオリティを追跡するには、**track interface** コマンドを使用します。仮想ルータのためのプライオリティ トラッキングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**track interface** {*ethernet slot/port* | **port-channel number**[*.sub\_if\_number*]} **priority value**

**no track interface** {*ethernet slot/port* | **port-channel number**[*.sub\_if\_number*]} **priority value**

## 構文の説明

<b>ethernet slot/port</b>	プライオリティ追跡対象の仮想ルータ インターフェイスを指定します。スロット番号は 1 ～ 255、ポート番号は 1 ～ 128 です。
<b>port-channel number</b>	プライオリティ追跡対象のポート チャネル グループを指定します。範囲は 1 ～ 4096 です。
<b>sub_if-number</b>	(任意) サブインターフェイス番号。有効な範囲は 1 ～ 4093 です。
<b>priority value</b>	仮想ルータのインターフェイス プライオリティを指定します。値の範囲は 1 ～ 254 です。このルータが IP アドレスのオーナーである場合、この値は自動的に 254 に設定されます。

## コマンド デフォルト

ディセーブル

## コマンド モード

VRRP コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

**track** コマンドは、仮想ルータのプライオリティをスイッチ内の別のインターフェイスのステートに基づいて変更するために使用します。追跡対象インターフェイスがダウンすると、プライオリティは仮想ルータのプライオリティ値に戻ります。追跡対象インターフェイスがアップすると、仮想ルータのプライオリティはインターフェイス ステートを追跡する値に戻ります。



(注)

インターフェイス上でプリエンブションをイネーブルにしなければ、インターフェイス ステート トラッキングを起動できません。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、仮想ルータのインターフェイス ステート トラッキングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# vrrp 250
switch(config-if-vrrp)# track interface ethernet 2/2 priority 2
switch(config-if-vrrp)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature vrrp</b>	VRRP をイネーブルにします。
<b>show vrrp</b>	VRRP 設定情報を表示します。
<b>track (VRRP)</b>	オブジェクトを追跡して VRRP プライオリティを変更します。
<b>vrrp</b>	VRRP グループを設定します。

## ■ track interface (VRRP)